

必修：地域医療

I. 概要

市内診療所、院内総合診療科での研修を1ヶ月間行い、地域における保健医療および第一線での医療の実際を経験する。研修期間1ヶ月の内訳としては、小嶋外科胃腸科医院で1日、残りの期間を当院内総合診療科で訪問診療や在宅ホスピスケアなどを研修する。

II. 指導医リスト

研修実施責任者：蘆野 吉和（総合診療科）
指 導 医：宮川 晃（総合診療科）
小嶋 泰彦（小嶋外科胃腸科医院院長）
米田 博輝（十和田湖診療所）

III. 研修目標

1. 一般目標

地域医療の現場を体験し、地域における医療のニーズを理解し医療の社会性とプライマリケアの実際を理解する。

2. 行動目標

- ① 最前線の医療とは何であるか理解する。
- ② 病歴と理学的所見から鑑別診断を考える姿勢を身につける。
- ③ 専門医へのコンサルテーションの適応や緊急性を判断する。
- ④ あるべき病診連携の姿を理解する。
- ⑤ 長期に患者を診ることの重要性、魅力を理解する。
- ⑥ 患者のバックグラウンドを理解し、さらに家族とのコミュニケーションの重要性も理解する。